

ファロー四徴症修復手術後の長期生存成績はよく、妊娠も注意して管理をうけていただければ特に問題ないとする報告がほとんどです。しかし、報告そのものがまだ少ないのも現状です。

最近の報告では妊娠率は一般の方と変わらないとされています。妊娠初期の流産は報告によって様々ですが、19-27%と一般の方とほぼ同じ、もしくは少し高い、と報告されていますがその理由ははっきりしていません。産科合併症である早産率は一般の方と変わらないとする報告が多いようです。しかし、妊娠中にお母さんに合併症が起こった方（肺動脈逆流や不整脈、心不全など）や、修復手術を受けられず妊娠された方の赤ちゃんは発育が小さくなりやすいとする報告もあります。またお子さんへのご病気（先天性心疾患）の再発率は2-6%と一般の方よりは高く、関連があるとする報告が多いようです。

これらの報告では最重症タイプである肺動脈閉鎖の方は除かれての検討が多く、重症タイプの方は当てはまらない場合もあります。

妊娠中に問題となること

妊娠すると、赤ちゃんを子宮内で育てるため循環血液量や1回の心拍出量、

心拍数が増え、全身の血管抵抗は減少するなどの変化が起こります。そういった妊娠による変化も関連して母体に心血管系の合併症が起こると報告されています。報告によってさまざまですが、合併症が起こる方は 1 割くらいからもう少し高いとする報告が多いようです。合併症としては不整脈、肺動脈逆流による右心拡大、右心不全などが多いと報告されています。これらの合併症を認める場合には、抗不整脈薬や、利尿剤、強心剤などの投与を必要とする場合や、重症の場合には妊娠の中断を選択せざるを得ないこともあります。

NYHA 分類 I 度(心機能を自覚症状から分類したもので、I 度は日常生活には支障がないレベルを指します)の方や、妊娠前に薬物治療を必要としていない方、肺動脈逆流を認めていない方はこれらの合併症が起こる可能性は低いと考えられています。

妊娠、出産を考える前に

かかりつけの医師（小児循環器科、循環器内科、循環器外科、または産科）を受診し、今後の妊娠出産に関してご相談いただくようお願いいたします。また出産はリスクを伴いますので、受け入れ可能な施設かどうか、検討する必要

があります。

分娩方法について

帝王切開術分娩を選択すべき、という報告はなく、帝王切開術での分娩は産科的適応がある場合に考慮されます。しかし帝王切開率は 2-3 割と、結果的に帝王切開術分娩となった方の割合は一般の方より高いようです。これは母体の心臓への影響を考慮して、帝王切開術が選択された場合が多いためではないかと考えられています。

産後について

出産を終えられれば、その後のトラブルは少ないようです。産後出血が多い、などの報告はありません。

関係してくださる医療関係者のみなさまへ

- ① 肺動脈逆流が強い場合、妊娠前に肺動脈弁置換を行うことを考慮する、という報告もあるようです。
- ② 帝王切開術や分娩第 2 期の努責を回避するための器械分娩（鉗子分娩、吸引分娩）は基本的には必要ないようです。
- ③ 出産時の予防的抗生剤投与に関して、通常以上に行うべきとするエビデンスはありません。ただ、肺動脈弁逆流・狭窄が存在する場合は、感染性心内膜炎のリスクを考慮して投与を行うのが一般的です。

2011/8/22 現在

今回ご紹介した内容は 2011/8/22 現在の知見です。今後医学の発展により新しい知見が加わる可能性があります。

参考文献

1. Veldtman GR, Connolly HM, Grogan M, Ammash NM, Warnes CA.
Outcomes of pregnancy in women with tetralogy of Fallot. *J Am Coll Cardiol*.
2004 Jul 7;44(1):174-80.
2. Pedersen LM, Pedersen TA, Ravn HB, Hjortdal VE. Outcomes of pregnancy in
women with tetralogy of Fallot. *Cardiol Young*. 2008 Aug;18(4):423-9.
3. Meijer JM, Pieper PG, Drenthen W, Voors AA, Roos-Hesselink JW, van Dijk
AP, et al. Pregnancy, fertility, and recurrence risk in corrected tetralogy of
Fallot. *Heart*. 2005 Jun;91(6):801-5.
4. Gelson E, Gatzoulis M, Steer PJ, Lupton M, Johnson M. Tetralogy of Fallot:
maternal and neonatal outcomes. *BJOG*. 2008 Feb;115(3):398-402.
5. Drenthen W, Pieper PG, Roos-Hesselink JW, van Lottum WA, Voors AA,
Mulder BJ, et al. Outcome of pregnancy in women with congenital heart
disease: a literature review. *J Am Coll Cardiol*. 2007 Jun 19;49(24):2303-11.
6. Drenthen W, Pieper PG, Roos-Hesselink JW, Schmidt AC, Mulder BJ, van Dijk
AP, et al. Non-cardiac complications during pregnancy in women with

isolated congenital pulmonary valvar stenosis. *Heart*. 2006

Dec;92(12):1838-43.

7. Balci A, Drenthen W, Mulder BJ, Roos-Hesselink JW, Voors AA, Vliegen HW, et al. Pregnancy in women with corrected tetralogy of Fallot: occurrence and predictors of adverse events. *Am Heart J*. 2011 Feb;161(2):307-13